

# 公益社団法人広島県就労振興センター

## 2019年度事業報告

これまで、広島県委託事業及び広島県知的障害者福祉協会との共催事業において工賃向上をテーマとした研修を開催してきた。実現可能な工賃向上計画をテーマに置き、個別支援計画との連動、会計管理や売上げ増に向けた行動計画の作成等の知識を習得できる研修であった。しかし、なかなか工賃向上に結びつかない事業所も多く、研修で習得できた内容と実態に差があることが課題ではないかと感じられた。そのため、県と協議の上、今年度の研修では、基礎研修に加え、希望する事業所へのコンサルタント派遣を実施した。現場では、コンサルタントのアドバイスにより利用者の作業状況や事業所全体の作業内容、量、売上等の状況を確認し、整理、行動計画の作成と実施を進めた。工賃向上につながる的確な助言と取り組みにより、半年で成果につながった事業所もあった。工賃向上の他、お菓子作りにおいても専門家を事業所に派遣することの効果が見られている。他事業においても有効な手段となるのではないかと感じられた。

企業の障害者雇用における支援ニーズが年々高まっている中で、就労支援機関では発達障害のある方の就労相談が高まっている状況がある。NPO法人ジョブコーチネットワークと共催し、経験の浅い事業所職員を対象とした「就労支援基礎セミナー」を開催した。講義と演習を通じ、現場で起こり得る支援場面から認知の特性理解と支援技術の習得できる内容となった。参加者からの評価は高く、就労支援技術に関する研修ニーズに引き続き応えていく必要があると感じた。

年度末には新型コロナウイルス感染拡大により、多くのイベントや委託販売先の営業自粛等の影響を受け、事業所の売上げが大きく減少してしまっている。感染拡大の状況によっては利用者の活動も縮小せざるを得ない状況が発生しているほか、集合型での研修や会議も開催できない状況となっている。販路拡大や受注拡大について、オンラインの活用など新しいツールの活用をどう取り入れていくのか、今後の大きな課題となってくる。この他、ウイルス対策に関する情報共有のため、国や県から発信される感染予防や事業所運営に関する情報を収集、発信に努めた。

ふれ愛プラザにおいては、「ふれ愛プラザ活性化協議会」においていただいた意見をもとに計画的な売上げ向上と広報を重点的に取り組んだ。下半期における月間の売上げ目標と販売計画を立て、新商品の積極的な納品や計画的な季節商品の納品について案内した。また、売れ筋商品や企業等からの注文情報を定期的に会員事業所へ発信した。年度末にはマスクの需要が伸びたこともあり、情報発信することでマスクの販売を始める事業所もあった。

共同受注窓口には、内職やパート等の人材不足から企業からの下請けや農業の施設外就労の相談が増加している。企業側からは「仕事を発注したいが、どのような仕事が発注できるかわからない」といった相談が多く、業務内容によっては事業所で受けることが困難もあった。業務内容の提案や他企業での事例紹介などを行った。また、契約内容や事業所運営規程との調整、相談が必要なケースもある。事業所の状況を事前に把握しておくことや行政等への確認を行い、企業とのマッチングを丁寧に行った。

2020年4月より、加工食品の販売に栄養成分表示が必要となる。周知、徹底に向けて情報発信を行い、栄養成分検査の実施に協力した。

広島県から「専門家指導による技術・販売力向上事業（ひろしまS-1サミット）」の委託を受けた他、販売イベントの企画や研修について会員事業所等と共同で実施した。

## 1 障害のある人の就労等に係る情報提供及び啓発に関する事業

### (1) 広報事業

①広報誌の発行（年1回：2月） 各回約5,700部 発行

関係行政、社協、民生委員、関連企業、正会員、賛助会員、諸団体等へ 配布

### (2) 情報提供

①ホームページ、facebookの運営

セルフフェア2019、ひろしまS-1サミット2019等販売イベントの開催前にHP等で事業所や商品の紹介を行った。また、会員事業所のイベント出店や研修会等の情報をホームページに掲載し、広報の手段として活用いただいた。SNSを活用することで、事業所の情報をより多くの方にお知らせすることができ、来店、来場のきっかけとなることを感じた。

②企業への情報提供

賛助会員企業へ「働く広場—障害者と雇用」（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構発行）を毎月配布した。

## 2 障害のある人の就労等に係る研修に関する事業

### (1) 研修会

①ビジネスマナースキルアップ実践セミナー

日時 6月15日（土）10時～17時

会場 福山プラザホテル

共催 広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会  
一般社団法人トータルライフサポートふくやま

講師 森田ひとみ氏（Morita キャリアプランニング）

参加者 15名

内容 ビジネスマンとしての心構え、電話対応、報・連・相で信頼を、敬語の使い方など

②クレーム対応研修

日時 7月6日（土）10時～17時

会場 広島市南区地域福祉センター

共催 広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会、日中活動支援部会  
協賛 一般社団法人トータルライフサポートふくやま

講師 森田ひとみ氏（Morita キャリアプランニング）

参加者 15名

内容 クレームの種類、クレーム対応の三原則、クレーム対応技術の習得など

③発達障害のある人への適切な対応を行うための雇用管理実践セミナー（公務編）

日時 8月27日（火）9時50分～16時

会場 広島市東区地域福祉センター 大会議室

共催 広島県発達障害者支援センター

講師 広島県発達障害者支援センタースタッフ

参加者 17名

内容 発達障害の障害特性や面接技法について講義と演習で習得する

④発達障害のある人への適切な対応を行うための雇用管理実践セミナー（企業編）

日 時 2月18日（火）9時50分～16時  
 会 場 広島市安芸区民文化センター 大会議室  
 共 催 広島県発達障害者支援センター  
 講 師 広島県発達障害者支援センタースタッフ  
 参加者 18名

内 容 発達障害の障害特性や面接技法について講義と演習で習得する

⑤JC-NET 就労支援基礎セミナー

日 時 2月24日（月・祝）10時～17時10分  
 会 場 広島市安芸区民文化センター 大会議室  
 共 催 NPO法人ジョブコーチネットワーク  
 講 師 小松邦明氏、西村浩二氏 他  
 参加者 28名

内 容 発達障害の障害特性や仕事を教える技術について講義と演習で習得する

3 障害のある人が福祉施設等で制作した商品の開発、販路の拡大並びに作業の開発、開拓、斡旋に関する事業

(1) 障害者就労支援事業所売上向上対策事業（ふれ愛プラザ）

- ① 総売上 23,587,185 円（対前年比 105.3%）、来店者が 13,518 人（対前年度比 98.9%）。
- ② 体験教室、イベントの開催

I 夏休み工作教室

期 日 2019年8月7日(水)～8日(木)

製作時間 10分～40分程度

内 容 夏休みの自由工作のひとつにできるような製品の製作体験を実施。

広島県の協力により、サンフレッチェ広島から森崎和幸 C.R.M とサンチェが工作教室の会場へ来場、会場を盛り上げた。さらに、店舗への導線を作るために店舗内で握手会&サイン会を開催した。

対 象 小学校低学年から

場 所 シャレオ西通りW36区画

日程	出店事業所	内容	参加者
8月7日(水)	第一もみじ作業所	さをり織り体験	122名
	もりの輝舎	木の貯金箱	
	かざぐるま舎	革で作る小物	
	アイラブ作業所	ビーズ・指編みストラップ	
	CrossRoad	レジンキーホルダー、ヘアピン	
8月8日(木)	セルフ宇品	肉球コースター、ペーパーホルダー	124名
	ワークホーム聖恵	ネーム入れ	
	ひとは工房	スイーツストラップ	
	トムハウス	ビーズのピンブローチ	
	パンダハウス	色塗りボックス	
	すまいるスタジオ	千羽鶴再生紙で作るえんぴつ	

合計参加者 246名

③ 県民・市民に身近な“ふれ愛プラザ”を目指した店舗づくり

I 施設活動、製品についての広報・啓発（店舗、事業所紹介）

ふれ愛プラザ活動、製品紹介におけるチラシ等を作成し、福祉機関・団体の協力のもと、幅広いPRに努めた。また、製品紹介の場を増やすため、外部団体等主催の行事に積極的に参加して広報啓発を推進した。また、商品情報や事業所のイベント情報等をホームページ、facebookの活用し、情報発信に努めた。

II 販売実習

障害のある人の販売実習として接客、レジ等の体験実習を行った。（延べ110事業所）

III 外部出展・販売

月	受注先	用途等	数	金額(円)	商品
4	広島県知的障害者福祉協会	会議でのお土産	20セット	59,680	お菓子
5	ソニー生命	粗品用商品	394個	86,614	お菓子等
6	東洋熱工業(株)	展示会でのお土産	100個	46,400	ノート
6	日本信号(株)	株主の方へのお土産	840個	546,000	ジャム
7	トゥギャザー	販売会用	90個	20,840	お菓子
7	広原海陸運輸(株)	粗品用	60セット	69,360	タオル
8	広島銀行	カタログ販売	117セット	60,563	お菓子等
8	(株)大京(2回)	カタログ販売	353セット	142,870	お菓子等
9	五日市中央地区社会福祉協議会	敬老の日プレゼント	185セット	223,745	お菓子
9	広島市高齢者作品展	参加記念品	227セット	106,690	お菓子等
9	日本セルフセンター	展示会でのお土産	339個	153,770	ノート等
9	安田女子中・高等学校	バザー用	800個	84,180	お菓子
10	シニア大学(委託販売)	大学祭で販売	731個	114,950	お菓子等
11	女学院高校等 3か所	バザー用	330個	48,100	お菓子等
11	トゥギャザー	頒布会	35セット	54,020	お菓子
11	広島市水道局職員互助会	行事での景品用	15セット他	23,800	お菓子
11	楽天アンセル	粗品用	570枚	119,700	タオル
12	広原海陸運輸(株)	粗品用	60セット	85,500	タオル
12	広島県授産事業振興会	販売会用	301個	60,980	お菓子等
12	アコム(株)	みるコンサート景品	100セット	35,000	コースター等
1	食べて語ろう会	基町の家改修の支援者へのお礼	100セット	50,000	お菓子
1~3	広島県薬務課(献血ルーム)	高校生献血推進キャンペーン	700個	84,000	お菓子
	フジキコーポレーション	中国電力ポイント還元商品	727個	207,210	シュガー等
	アクアプラン(ホンダカーズ広島)	成約者への粗品	53回納品	397,104	お菓子
	ひとは工房(委託販売)	毎月第三金曜日(あじさい横丁)		158,623	お菓子

⑤ 今後の運営に関する協議

I 広島県・広島市・センターの定期的な3者協議の開催

日程	議題
2019年9月6日	ふれ愛プラザ及び広島県就労振興センターにおける課題・問題の整理

(2) 事業所応援プロジェクト(スイーツ編)(協力:一般社団法人広島県洋菓子協会)

ひろしまS-1サミット2019の事業として企画、実施。

実施事業所(商品名):つくしんぼ作業所(フロランタン※ひろしまS-1サミットにおいて  
スナック部門優秀賞受賞)、広島どんぐり作業所(小松菜ラスク)、  
可部つちくれの家(アプリコットレモンケーキ)

(3) 常設店・フェア・イベント事業支援

①常設展示

ひろしま夢ぷらざ（広島市中区）、広島プリンスホテル（広島市南区）、ローソン（広島市中区他2店舗）、ポプラ（広島市中区他1店舗）、イオン広島府中店（安芸郡府中町）、TAU（東京都中央区）

②創作品、商品の展示紹介活動の推進

参加事業所で実行委員会を組織し、フェアの企画、運営に携わっていただくことで継続したフェアの開催と製品の質の向上を目指すとともに、県民への幅広いPRに努めた。

フェア名	開催日	開催地	参加事業所数
セルプフェア 2019	11月28日（木）～ 12月10日（火）	ひろしま夢ぷらざ （広島市中区）	22事業所 （内会員20事業所）
ひろしま S-1 サミット 2019（広島県受託事業）	①県予選 9月12日（木） ②本選 11月23日（祝）	①広島県庁 ②MAZDA Z o o m-Z o o mスタ ジアム広島	①10事業所 ②10事業所

③斡旋紹介活動の推進

I 障害者就労支援事業所売上向上対策事業（共同受注）

・官公庁からの受注

発注企業等名	内容	売上金額 （昨年度比）
国の関係機関	草刈り、剪定作業、封筒・パンフレット印刷、ゴム印製作 等	1,298,902円 （113.4%）
県の関係機関	パンフレット印刷、キャンペーンリボンの製作 等	587,330円 （208.9%）
各市町	広報誌等封入作業、公用車洗車作業、シール印刷 等	861,430円 （151.6%）
合 計		2,747,662円 （137.7%）

・企業からの受注

内容	売上金額（昨年度比）
委託販売	337,513円（148.7%）
清掃作業	3,631,603円（254.0%）
縫製作業	164,468円（124.5%）
ゴム印作製	442,981円（1253.1%）
封筒印刷	424,075円（0.97%）
粗品受注	0円（0%）
封入作業	76,300円（545.0%）
草刈り、外周清掃	420,290円（641.6%）
内職	788,890円（160.8%）
合 計	6,286,120円（450.0%）

II ルイボスティ・海水の素共同受注事業支援

III 自動販売機事業共同受注事業支援

IV イベント販売等の斡旋

フェア名	開催日	開催地	参加申込事業所数
おひなまつりマルシェ	新型コロナウイルス 感染防止のため中止	三原幼稚園	2事業所

V 商談会への参加

【令和元年度販路開拓支援事業「商談会」】

期 日 : 2019年11月12日(火)

会 場 : ホテルセンチュリー21広島

主 催 : 広島県商工会連合会

提案商品 : とんかかあられ(就労センターあっぷ)、さくほろ甘酒クッキー(ウイング)、  
もみじせんべい(第一もみじ作業所)

内 容 : 小規模事業者等の商品開発・販路開拓を支援するため、首都圏並びに広島地区  
等のバイヤーを誘致した商談会

結 果 : 株式会社まるごと食品: 紹介した商品のセット商品での売り出し、新商品の開  
発についての相談、他企業の袋詰め内職の相談につながっている。

株式会社広島三越: 商品については興味を示してもらえたが、具体的な取引に  
は至らず。

株式会社郵便局物販サービス: セット商品とパンフレットを各事業所で用意  
し、事業所の地元郵便局へチラシを置く。

#### VI情報収集・研修会への協力・参加

市町の自立支援協議会へ参加し、共同受注、情報収集、研修会への協力等を行った。

##### ①安芸高田市自立支援協議会への参加

・安芸高田市広報誌他の封入作業(発注元: 政策企画課、秘書広報課)及び安芸高田市の  
公用車洗車作業(発注元: 社会福祉課)等の調整

・就労支援研修会の共同企画研修

日程: 2月5日(水) 11時~16時

講師: ハローワーク呉 専門相談部門 斉藤正尚氏、株式会社大創産業 人事・総務部 人  
事・採用課 泉敏夫氏

場所: 安芸高田市民文化センタークリスタルアージュ

内容: 就労支援に関する取り組みを知り、安芸高田市で取り組めることを検討する。

##### ②呉市自立支援協議会への出席

日程: 12月17日(火) 15時~16時

場所: 広市民センター

内容: 共同受注窓口の紹介

#### (4) 研修会の開催

##### ①事業所スキルアップ事業(広島県委託事業)

###### I 工賃底上げ研修会

###### 【基礎研修】

日時・場所	テーマ	プログラム
第1回 8月29日(木) 10時~17時 広島市南区地域福祉センター	【基礎講座】 工賃向上に 必要な視点と知識	工賃向上に必要な視点、就労会計と 事業評価、工賃支払規程、目標設定 方法、戦略策定 など
第2回 9月17日(火) 10時~17時 広島県健康福祉センター	【実践演習】 事例研究&工賃向 上計画策定	事例紹介、シナリオ策定、工賃向上 計画・個別支援計画・行動計画作成 の方法など
第3回 3月3日(火) 13時~17時 ※新型コロナウイルス感染拡 大防止のため中止	【実践演習】 成果報告会	成果報告会

### 【工賃向上アドバイザー派遣】

日 程 10月21日(月)、11月15日(金)、12月17日(火)、1月30日(木)

事業所 可部つちくれの家、かわせみの家、就労支援日々生、ピッコロ、八木園、ワークサポート希望の家(呉市事業)

講 師 株式会社インサイト 関原深氏、北野喬士氏

参加者 14事業所

内 容 基礎研修では「工賃向上計画策定」「行動計画の策定」を中心題材とし、知識・技術を習得した上で、実現可能な行動計画を作る。

アドバイザー派遣では、基礎研修で理解できていない部分を各事業所の実情に応じて体験しながら習得し、行動計画の実現につなげる。

### ②工賃向上公開講座

共催：広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会

日時・場所	内容	テーマ・講師
7月26(金) 10時～16時 広島市東区地域福祉センター 参加者：35名	工賃向上計画策定のポイント	工賃向上計画策定プロセスについて
1月24日(金) 13時～16時30分 広島県社会福祉会館 参加者32名	【事例研究】 工賃向上研修参加事業所の実践内容及び全国の先進事例の紹介	「工賃向上実践報告研修会～工賃向上に専門家派遣の活用～」 講師：株式会社インサイト 関原深氏 実践報告者 金子達也氏(社会福祉法人愛宕福祉会) 吉岡慎二氏(かわせみの家) 梶原龍之介氏(ワークサポート希望の家)

### ③「軽減税率制度勉強会」 受講者：10名

日程：2019年9月19日 10時～12時

場所：広島市東区地域福祉センター

講師：白濱 孝行 氏 (奥会計事務所)

### ④「魅せるディスプレイとPOP」 受講者：15名

日程：2019年10月24日 14時30分～16時30分

場所：広島市手をつなぐ育成会 本館

講師：久保 咲央里氏 (デザインオフィス 仔ざる貯金 デザイナー・インストラクター・システムエンジニア)

## 4 障害のある人に対する就業・生活支援に係る事業

(1) 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター事業を実施した。

就業支援登録：53名(累計1,233名)の就労希望者の登録

就業における実績：職場実習64件、就労実績49件、就職1年後88.7%

障害別・登録者 件数 (2020年3月31日現在)

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計(件)
161	675	358	39	1,233

2019年度 新規登録者内訳

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
10	31	12	0	53

2019年度 就業実績 件数 ※ ( ) 内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
8 (8)	26 (38)	15 (17)	0 (0)	49 (68)

2019年度 職場実習あっせん 件数 ※ ( ) 内は前年度件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (件)
9 (5)	26 (13)	29 (18)	0 (0)	64 (70)

就業定着率 (2018年度就業者68名のうち就業1年後の定着率) ※ ( ) 内は前年度定着率

身体障害	知的障害	精神障害	その他障害	合計 (%)
71.4 (66.7)	92.1 (96.9)	88.2 (83.3)	0 (0)	88.7 (86.8)

(2)ピアサポート活動

新規事業としてピアサポート活動を実施した。精神・発達障害の方を対象にストレス軽減、就労意欲を向上させることを目的とし、「言いつばなしの会」を5回開催した。日頃の職場などで感じる思いを分かち合い、ストレス解消法や余暇の過ごし方など参加者同士で情報交換をした。参加者の意欲減退につながる可能性もあると心配していたが、毎回盛り上がり、一度参加した方は「毎回参加したい」とリピーターになっている。お互いの体験を聞くことで、つながりもでき、働く意欲にもつながっている。

第1回：5月18日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ：仕事・福祉事業所で困っていることについて 参加者：10名
第2回：7月13日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ：ストレス解消法について 参加者：8名
第3回：9月21日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ：余暇の過ごし方について 参加者：8名
第4回：10月26日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ：落ち込んだときの対処方法について 参加者：12名
第5回：1月25日(土) ビューポートくれ(呉市)	テーマ：最近楽しかった・うれしかったことについて 参加者：12名

(3) 職場定着促進のための在職者交流活動

知的障害の方を対象に「職場定着スキル学習会」を4回開催した。「お金を計画的に使う」ことをテーマにした学習活動で、特別支援学校の卒業生や初めて働く人などを中心に、給料の管理の仕方等グループワークを通して学んだ。

第1回：6月1日(土) ビューポートくれ(呉市)	【当事者向け】(知的障害者対象)「はたらくことのいいところ～仕事とつながる私の未来～」 参加：26名 【当事者・家族支援者向け】「障害年金勉強会」 参加者：45名 講師 社会保険労務士 畝田谷栄子氏
第2回：8月31日(土) ビューポートくれ(呉市)	【当事者向け】(知的障害者対象)「生活の中のさんすう～今日から使える「さんすう」を学ぼう～」 参加者：12名 (精神障害者対象)「お金の達人になろう。パート4」 参加者：28名 講師 ファイナンシャルプランナー 君崎滋氏 お金で学ぶさんすう®理事長 住山志津枝氏

<p>第3回：11月23日（土） ビューポートくれ（呉市）</p>	<p>【当事者向け】（知的障害者対象）「スマホ決済の便利なポイント、気をつけるポイント」 参加者：24名  <b>【当事者・家族支援者向け】</b>「キャッシュレス決済の現状と活用方法」 参加者：14名  <b>講 師</b> ライフマネー研究会代表・ファイナンシャルプランナー 島貫正人氏          ライフマネー研究会主任講師 鈴木佳江氏</p>
<p>第4回：2月22日（土） ビューポートくれ（呉市）</p>	<p>【当事者向け】（知的障害者対象）「社会人として身につけたいお金の使い方、まもり方」 参加者：35名  <b>【当事者・家族支援者向け】</b>「親の老後、子の老後を支えるお金～人生100年時代、3つの寿命をのばす～」 参加者：34名  <b>講 師</b> 暮らしとお金のPro-Lab. 代表 尾関さゆり氏          暮らしとお金のPro-Lab. 講師 中部絵美氏</p>

（4）関係機関との連携

ハローワークや障害者職業センター、就労移行支援事業所と連携しながら、当事者を中心にチーム支援で就労に向けて取り組んでいる。高次脳機能センターや病院の復職担当者など医療機関とも連携しながら、就労に向け準備をすすめた。

①関係機関との連絡会議への出席

- ・呉市自立支援協議会 5回出席（全6回開催）
- ・江田島市自立支援協議会会議 4回出席（全4回開催）
- ・発達障害者雇用支援連絡協議会 2回出席（全2回開催）

（5）関係機関との連絡会議の開催状況

「障害者雇用関係機関連絡会」、「障害者雇用企業交流会」を7月と1月に2回開催した。「障害者雇用企業交流会」は業種業界を超えて企業の人事担当者、現場担当者のみで集まり障害者雇用の現場で抱える課題について情報交換する場で、回を重ねるごとに参加者が増えている。

2019年度で3回目となる「発達障害をもつ学生の就労・生活支援セミナー」を8月に開催したが、参加者が減少している状況がある。発達障害の学生が手帳を持っていてもクローズで就職したいという希望が多く、障害特性を踏まえた上での就職支援ができないというのが理由だと推察される。今後の発達障害学生への就労支援の在り方を考え直していきたい。

日程・場所	内 容
<p>7月5日(金) ビューポートくれ</p>	<p>第1回障害者雇用企業交流会 参加者:11社11名          第1回障害者雇用関係機関連絡会 参加者:56名  <b>講演・研修会『障害者の雇用事例の発表』</b>  <b>講師</b>：ピーアシスト株式会社          (ブックオフコーポレーション(株)特例子会社)          人財開発部長 深水清志氏</p>
<p>1月31日(金) ビューポートくれ</p>	<p>第2回障害者雇用企業交流会 参加者:11社11名          第2回障害者雇用関係機関連絡会 参加者:48名  <b>講演・研修会『認識と理解で雇用は変わる～働きやすさと働き甲斐とは～』</b>  <b>講師</b>：株式会社 ソシオネクスト          総務人事統括部 人事部 人材開発課          チャレンジスタッフマネジメント担当 梅川由里氏          チャレンジスタッフ 石田直子氏</p>
<p>10月5日(金)</p>	<p>障害者就労訓練事業所 バス見学会          参加者：8名（広島県雇用労働政策課、呉市障害福祉課、ハローワーク呉、企業）</p>

	見学先：巣だち呉事業所（就労移行支援事業所）、デイセンターのろさん（就労移行支援事業所）、地域ネットくれんど（就労継続B型事業所）
8月23日（金） TKPガーデンシティ広島駅前	発達障害をもつ学生の就労・生活支援セミナー 参加者 大学・短大・専門学校就職担当者 7校 12名 障害者職業センター 1名 広島県障害者支援課 2名 障害者就業・生活支援センター（県内8か所）10名 講師 明星大学ユニバーサルデザインセンター 工藤陽介氏

(6) 就労支援スキルアップを目的とした研修会参加状況

研修名	場所	期間
全国就業支援ネットワーク 第21回定例研究・研修会	秋田キャッスルホテル (秋田市)	6.14～6.15
令和元年度障害者就業・生活支援センター 就業支援スキル向上研修	障害者職業総合センター (千葉市)	(前期) 6.5～6.7 (後期) 9.17～9.20
ジョブコーチカンファレンス2019	沖縄コンベンションセンター (宜野湾市)	7.13
令和元年度 就業支援課題別セミナー「高次脳機能障害者の就労支援」	障害者職業総合センター (千葉市)	10.3～10.4
日本知的障害福祉協会 令和元年度 相談支援・就業支援セミナー	新横浜国際ホテル(横浜市)	10.15～10.16
令和元年度障害者就業・生活支援センター 事業におけるブロック別経験交流会議 令和元年度中国四国地区ワーカー連絡会	高松サンポート合同庁舎 (高松市)	11.5～11.6
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援 機構 第27回職業リハビリテーション研究・実践 発表会	東京ビックサイト(東京都)	11.18～11.19
日本財団就労支援フォーラム NIPPON 2019	ベルサール新宿グランド (東京都)	12.14～12.15
令和元年度就業支援スキル向上研修	障害者職業総合センター (千葉市)	1.28～1.30
全国就業支援ネットワーク 第7回障害者就業・生活支援センター事業 をより深く考えるための全国フォーラム	千葉県教育会館(千葉市)	1.31～2.1

## 5 障害のある人の権利擁護に関する事業

研修会を通じて障害のある人の人権擁護に関する普及啓発を行った。

## 6 関係行政機関、団体等との連携に関する事業

(1) 全国社会就労センター協議会にアンケート・要望事項の提出

①共同受注窓口体制に関するアンケートへの協力

②全国社会就労センター協議会関連会議、研修会への参加

I 第1回協議員総会 5月14日(火) 東京都 全社協第3~5会議室

・議題 平成30年度事業報告・決算(案)、運営内規の改正、役員改選について 等

II 第2回協議員総会 新型コロナ感染防止のため書面決議

・議題 令和元年度補正予算(案)、令和2年度事業計画・予算(案)について 等

(2) 中国・四国社会就労センター協議会

I 役員会 4月12日(木) 高知市

・議題 平成30年度事業報告及び決算報告について 等

II 中国・四国社会就労センター協議会施設長研修会 10月17日(金)~18日(土) 高知市

・基調講演「令和元年度全国社会就労センター協議会の取り組み」

全国社会就労センター協議会 会長 阿由葉 寛 氏

・行政説明「障害者就労支援施策の動向~これまでとこれからの就労系障害福祉サービスについて~」

厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐 石井悠久 氏

・実践発表 ①「地域を支える施設を目指して」

高知県 こだかさ障害者支援センター 木工部 部長 友村 正子 氏

②「香川県における農福連携の現状と展望」

高知県社会就労センター協議会 コーディネーター 阿部 隆弘氏

・講演「これからの障害福祉事業経営の展望と課題」-始まった2021年報酬改定への動き

立教大学コミュニティ福祉学部 教授 平野 方紹 氏

・講演「障害者支援を中・長期的視点で考えよう」

FP事務所オフィス石川 代表 石川 智 氏

III 中国・四国社会就労センター協議会総会 10月18日(金) 高知市

(3) 障害者の就労に関する各団体及び理解と支援を示す各団体との連携

厚生労働省広島労働局、広島県障害者支援課、広島市障害自立支援課、広島県雇用人材確保課、広島障害者職業センター、広島障害者職業能力開発校、各障害者就業・生活支援センター、ハローワーク呉、ハローワーク広島、ハローワーク広島東、ハローワーク可部、ハローワーク廿日市、呉特別支援学校、広島北特別支援学校、広島特別支援学校、廿日市特別支援学校、黒瀬特別支援学校、広島市立広島特別支援学校、広島県共同募金会 広島県社会福祉協議会、ひろしまNPOセンター、千羽鶴未来プロジェクト等

## 7 障害福祉サービス事業所の運営

(1) 就労継続支援B型事業 利用契約者数:27名(3月末現在)、年間就職者数2名(就労継続A型含む)

①利用者支援について

利用者が自主的に行動できるように個々の特性や能力に配慮をした作業環境を整えた。作業

アセスメントや個々のニーズをもとに個別支援計画を作成し、定期面談を取り入れ、利用者の意欲の向上を図った。そのことにより、利用者の通所日数の増加につながった。しかしながら、不調サインに気づくことができず、長期休所につながってしまったケースもあった。引き続き定期面談を行うことで利用者の悩みや困りごとを早めに気づくことができる機会を作り、利用者が精神的に安定した状態で通所できるようサポートしていく。

また、作業時間が短い利用者が多く、工賃が伸び悩んでいる現状がある。作業アセスメントの実施や新しい作業への挑戦を行うほか、売上目標の設定を利用者と職員で共有することで事業所全体のモチベーションを高めていく。

## ②就職のための活動支援

- ・職場体験（実習）：ふれ愛プラザでの実習／企業等での実習支援
- ・就職前準備：書類作成・面接指導（随時）／企業等見学・実習 など

## ③千羽鶴未来プロジェクトと協同して、障がいのある方の仕事づくりを行う。

- ・千羽鶴ファクトリーチームのキーステーションとして、グッズの共同製作やオリジナルグッズの製作、新商品の案内などの情報発信に努めた。
- ・協同製作に向け、見学やグッズ製作体験会の実施や他事業所へ作業発注を積極的に行った。
- ・広島市就労支援センターが発行するセンター通信に新商品の紹介や共同製作に関する記事を掲載し、情報発信に取り組んだ。
- ・修学旅行生を受け入れ、平和学習会を実施した。学習会では、利用者が主体となり千羽鶴の解体体験を行った。

## ○折り鶴ポストカード事業

内 容 広島市の優先調達推進法を活用したポストカードの発注を広島市内近郊で千羽鶴の解体を行っている事業所（39 事業所）で共同受注した。

実 績

（単位：万枚）

納入月	4月	5月	7月	8月	10月	11月	計
納入数量	20	20	30	30	20	20	140

## ④その他活動

- ・ボランティア活動：爆心地の清掃と千羽鶴回収（週1回）、とうろう流し実行委員会への参加（8月6日）
- ・掃除強化デイの設定：掃除強化日を設定（週1日）

## (2) その他

### ①職員会議（年3回）、職員ミーティング（月1回）

個々の利用者の支援内容や個別支援計画の内容について協議、行事や事業所運営に関する検討等

### ②関係機関との連携・研修会への参加

- ・工賃向上計画活用研修、発達障害支援スキルアップ研修（成人期）等職員のスキルアップを図るための研修に積極的に参加した。

## 8 その他公益目的達成に必要な事業

### (1) 総会、理事会の開催

①総会

・第1回

【日時・場所】 6月12日（水）13時30分～17時 広島県社会福祉会館

【議案】2018年度事業報告（案）、決算報告（案）、会員の入退会、役員変更等

【研修会】「障害者の就労支援と工賃向上」

講師 日本財団 公益事業部 国内事業開発チーム シニアオフィサー  
竹村利道 氏

②理事会

・第1回

【日時・場所】 5月24日（金）10時～12時 広島県社会福祉会館

【議案】2018年度事業報告（案）、決算報告（案）、会員の入退会、役員の改選等

・第2回

【日時・場所】1月22日（水）10時～12時 広島県社会福祉会館 会議室2

【議案】2019年度上半期事業報告、ふれ愛プラザの運営について等

・第3回

【日時・場所】3月11日（水）定款第34条の「決議の省略」による書面決議

【議案】2019年度補正予算（案）、2020年度事業計画（案）、予算（案）、役員の改選等

(2) 正会員及び賛助会員の拡大を推進し、組織の強化を図る。

①正会員

入会事業所：おーふんはーと、スペースぶなの森、就労支援センターあおぎり

退会事業所：みのり作業所、ワークショップ西風舎

(3) 財務基盤の確立

・塩、ルイボスティ、スティックシュガー、缶飲料等の販売促進の取り組みを行った。